

USB 2.0/1.1 DVD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

LDR-42U2

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第1章 ご使用の前に	7
1.1 製品の特徴	7
1.2 使用上のご注意	8
1.3 使用可能な DVD メディア	8
1.4 各部の名称	9
1.5 接続の前に	10
第2章 接続について	12
2.1 接続の手順	12
2.2 接続結果の確認	13
2.3 USB ドライバのインストール	14
第3章 付属ソフトウェアについて	16
「WinCDR Lite」「PacketMan」の使いかた	16
「MyDVDTM 4.0」の使いかた	19
「PowerDirector 2.5 Standard FULL」の使いかた	22
「PowerDVD XP (OEM版)」の使いかた	24
第4章 取り扱いについて	26
4.1 メディアのセット/取り出しについて	26
4.2 本製品を取り外す場合は	28
第5章 補足事項	30
5.1 トラブルシューティング	30
5.2 デバイス上の登録名について	33
5.3 使用環境について	34
ハードウェア仕様	36



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。</p>
 注意	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。</p>



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないで下さい

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないで下さい。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないで下さい。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないで下さい。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないで下さい。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



注意

本製品の稼動中に電源コード、ケーブル部類を抜かないで下さい。
データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因
となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入し
たりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。
発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管
は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温
度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加
わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があ
ります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありま
すとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用
ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または
中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含
ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シン
ナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方
法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等
に従って正しい取扱いをして下さい。傷がついたり折れ曲がったメディア等
を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

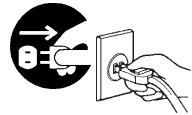
1・2・3・4・5



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換 / 保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権利者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社 DVD-R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書はDVD-R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD-R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項目に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®・Celeron®は米国Intel社の登録商標です。WinCDR、PacketMan は株式会社アプリックスの商標です。MyDVDはSonic Solutions社の米国およびその他の国での登録商標です。PoweDVD XP およびPowerDirectorはサイバーリンク社の商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

付属品の確認

DVD-R/RWユニット	1台
USBケーブル (USB 2.0 High-Speed対応)	1本
ACアダプタ	1個
縦置き用ゴム足	1セット
ミニクランプ	1個
ソフトウェア (CD-ROM)	
MyDVD 4.0	1式
WinCDR Lite (PacketMan含む)	1式
Power Director 2.5 Standard FULL	1式
PowerDVD XP (OEM版)	1式
「LogitechWare」CD-ROM	1枚
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
DVD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

「LogitechWare」CD-ROMは、弊社製品のドライバやユーティリティを保存したCD-ROMです。Windows 98 Second Edition用のUSBドライバが保存されています。

「Power Director 2.5 Standard FULL」と「PowerDVD XP (OEM版)」は1枚のCD-ROMにて提供されています。

第 1 章

ご使用の前に

1 . 1 製品の特徴

本製品はUSB 2.0のHigh Speedに対応したDVD-R/RWユニットです。DVD-Rメディアへの4倍速書き込み、DVD-RWメディアへの2倍速書き込みに対応しています。また、本製品にはDVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RWメディアへの書き込み、DVDビデオの再生に必要なソフトウェアを付属しています。

DVD-Rメディアの4倍速書き込み、DVD-RWメディアの2倍速書き換え、DVD-ROMメディアの12倍速読み出しが可能です。標準速では60分かかると4.7GBの書き込みが、4倍速では約15分で終了します。

DVD-R、DVD-RWメディアの他にもCD-Rメディアの16倍速書き込み、CD-RWメディアへの8倍速書き換えにも対応しています。

各メディアへの書き込み時には、バッファアンダーランエラー防止機能が動作しますので、安定した書き込みが可能です。

また、DVD再生ソフトが添付されていますので、市販のDVDビデオなどをパソコンの画面で再生することができます。

DVD-R、DVD-RWメディアにはDVD-ROM互換のPCデータ書き込みを行うことができますので、大容量のPCデータの保存や配布に活用できます。もちろんDVD-R、DVD-RWメディアだけでなく、「CD-R/CD-RWメディアへの書き込みにも対応しています。

1.2 使用上のご注意

- 本製品を USB 1.1 ポートで接続して使用する場合は機能は CD-R, CD-RW メディアへの書き込み、CD-ROM の読み込みのみとなります。DVD の記録、再生等は行えませんのでご注意ください。また、CD-R, CD-RW への書き込みも 8 倍速以下に制限されます。付属のソフトウェアを使用して DVD の記録、再生等を行うためにはパソコン本体に USB 2.0 インターフェースを取り付けておく必要があります。
- 市販されている DVD ビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-R, DVD-RW メディアに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオを再生可能な DVD プレーヤーに関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) をご参照ください。
- パケットライトソフトウェア「PacketMan」で DVD-RW メディアに書き込まれたデータは、DVD-RW メディアへの書き込みに対応した製品以外のドライブでは読み出すことができません。これは DVD-RW メディアへの書き込みに「Restricted Overwrite 方式」が使用されているためです。
- DVD-R, DVD-RW メディアにはラベルを貼付しないでください。

1.3 使用可能な DVD メディア

メディア名	容量	読み込み	書き込み
DVD-ROM single	4.7GB		-
DVD-ROM dual	8.7GB		-
DVD -RAM	All -Type	x	x
DVD-R Ver.1.0	3.95GB		x
DVD-R for Authoring Ver.2.0	4.7GB		x
DVD-R for General Ver.2.0	4.7GB		
DVD-RW Ver.1.1	4.7GB		
DVD - Video	-		-
DVD + R	4.7GB	x	x
DVD + RW	4.7GB	x	x

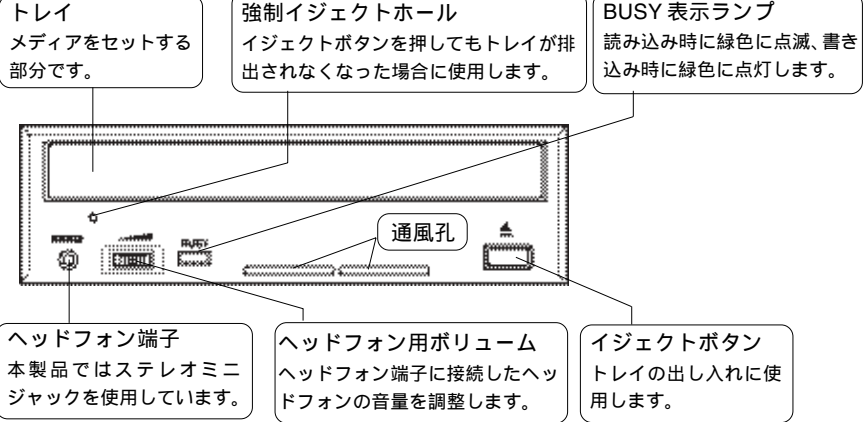
使用可能
 x 使用できません
 - その用途では使いません。

本製品で書き込みを行えるのはこの 2 つの DVD-R, DVD-RW メディアです。

- DVD-R メディアはデータの書き換えはできませんが、互換率が高いので、保存や配布目的の PC データや DVD ビデオの書き込みに向いています。
- DVD-RW メディアは書き換え可能ですが、DVD-R メディアと比較して互換率が若干低くなります。PacketMan を使ってのドラッグ & ドロップでのデータ保存や、DVD ビデオの試し書きなどの用途に向いています。

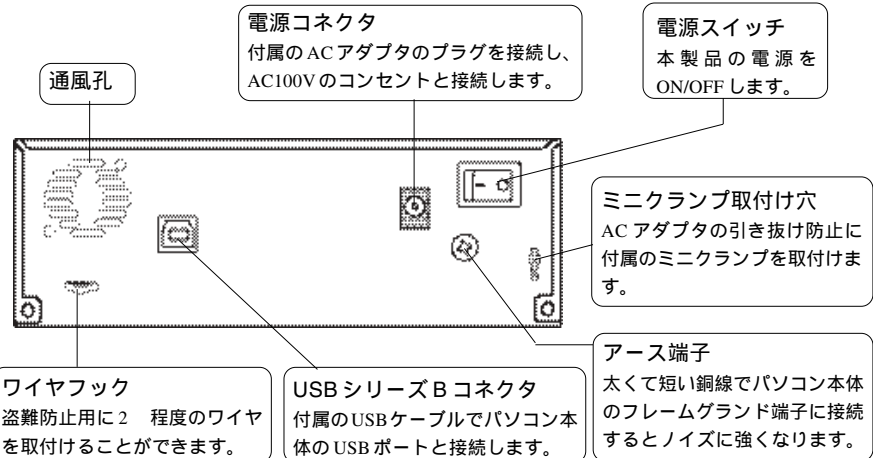
1 . 4 各部の名称

本製品前面



- !** ご注意
- 通風孔をふさいだり、この部分を覆うような形でものを置かないでください。過熱による故障などの原因となります。

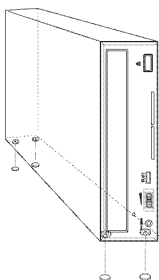
本製品背面



1 . 5 接続の前に

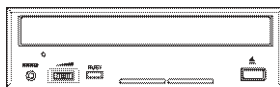
設置方向について

設置の際には本製品が下図のような方向になるようにしてください。



縦置きの場合

図のように付属のゴム足を底面の4カ所に貼り付けてください。

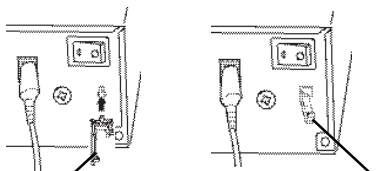


横置きの場合

ミニクランプの取り付け

ACアダプタ引き抜け防止のため、以下の手順で付属のミニクランプを取付けてください。

ミニクランプを本製品背面のミニクランプ取付け穴に水平に差込み垂直に回転させ固定します。

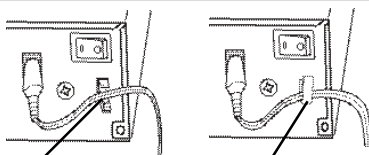


水平に差し込みます。

回転させて固定します。

本製品に接続したACアダプタのコードをミニクランプに通し、口を閉じます。

ACアダプタのコードをミニクランプの間に通します。



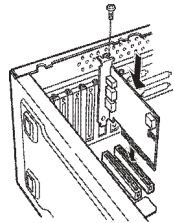
口を閉じます

このようにミニクランプを取付けるとACアダプタが引き抜けにくくなります。ただし、落下等、非常に強い衝撃などによる引き抜けを防止できるというわけではありません。取扱いには十分ご注意ください。

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りのインターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。（その場合の機能は CD-R、CD-RW メディアへの書き込み、CD-ROM の読み込みのみとなります。）



USB 2.0 のインターフェイスボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CBUSB2	CardBus	インターフェイスカード単体

第2章 接続について

2.1 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

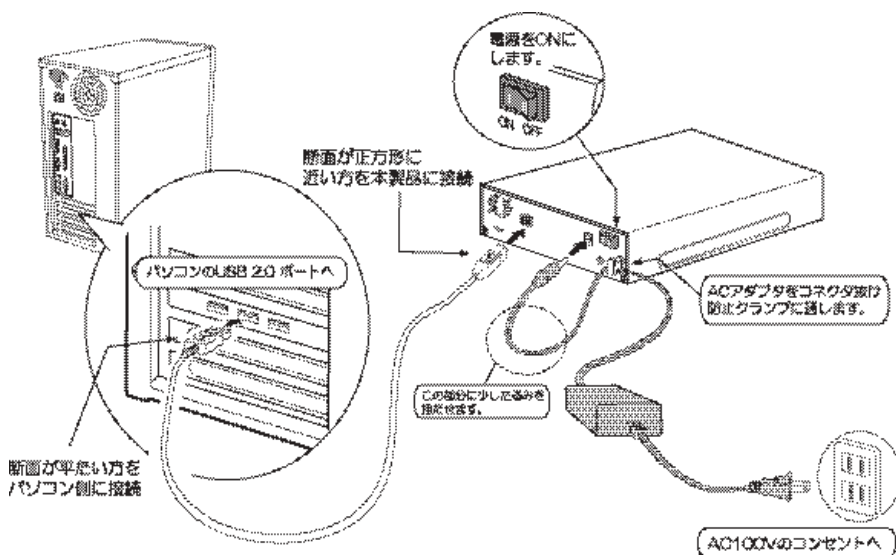
この時、Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログインしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrators」等)。

接続手順(下図参照)

付属の AC アダプタを本製品背面の電源コネクタに接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。AC アダプタのコードはミニクランプで固定してください。

付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。

- ・本製品側と USB シリーズ B コネクタ(正方形に近いコネクタ)を接続、
- ・パソコン側と USB シリーズ A コネクタ(平たいコネクタ)を接続します。



上の図はパソコンの拡張スロットへ増設したコネクタへ接続した場合の例です。パソコン本体にポートが標準装備されている場合には、そちらのポートを使用しても問題はありません。

! ご注意

- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源をONして下さい。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0拡張ポートへ接続してください。標準搭載されているUSB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合の機能はCD-R、CD-RWメディアへの読み込み / 書き込み、CD-ROMの読み込みのみとなります。
- ・USB 1.1ポートへ接続し使用する場合もなるべく本製品付属のものかUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

2 . 2 接続結果の確認

Windows 98 Second Editionをご使用の方は接続後USBドライバのインストールをおこないます。次ページ「USBドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP , Me , 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識されWindowsの標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてDVD-R/RW書き込み、DVDビデオ再生の準備をします。「第3章 付属ソフトウェアについて」へお進みください。



Windows XPで表示
されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で表示
されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第5章の「5 . 1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.3 USBドライバのインストール

(Windows 98 Second Edition のみ)

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、以下のように入力して

D:¥DRIVERS¥USBCYPRE¥WIN98

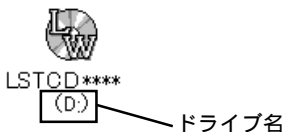


3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「d:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて「LogitecWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でUSBドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてDVD-R/RW 書き込み、DVD ビデオ再生の準備をします。「第3章 付属ソフトウェアについて」へお進みください。アイコンが新しく登録されない場合は、第5章の「5.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



第3章

付属ソフトウェアについて

接続が終わったらソフトウェアのインストールをします。

接続後、本製品はDVD-ROMドライブ(リーダ)として使用することができます。ただし、まだソフトウェアがインストールされていないため、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW メディアへの書き込みや、DVD ビデオの再生はできません。

DVD-R/RW ユニットはソフトウェアを使用してデータの書き込みやDVDビデオの再生を行うためです。

ここでは、本製品付属の書き込み、再生用ソフトウェアの概要とインストール方法についてご説明します。

「WinCDR Lite」「PacketMan」の使いかた

3

「WinCDR Lite」(DVD/CD ライティングソフトウェア)

DVD-R、DVD-RW メディアへのDVD-ROM 互換でのデータ書き込みができます。その他にも、CD-R、CD-RW メディアへの書き込み機能も搭載しています。

「PacketMan」(DVD/CD パケットライトソフトウェア)

ファイルやフォルダ単位でのアクセスが可能ですので簡単な操作でデータの書き込みが可能です。また、DVD-RW メディアのクイックフォーマットに対応していますので、メディアのフォーマットが短時間で終了します。



ご注意

PacketMan は、他社製のパケットライティングソフトと同時に使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合はそのソフトをアンインストール(削除)する必要があります。

Windows XPで、エクスプローラ上の書き込みをする場合はPacketManをインストールしないで下さい。この2つの機能も重複して使用することはできません。

MyDVD を使用して書き込みを行う場合は PacketMan をご使用になれません。PacketMan を「無効」に設定してください。

インストール手順

- 1 「WinCDR Lite」のCD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。自動的に下の画面が表示されますので「WinCDR」と「PacketMan」をそれぞれインストールします。



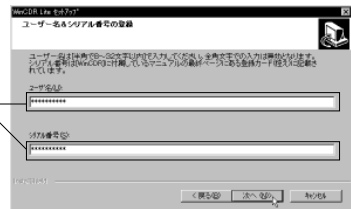
インストールするソフトウェアのボタンをクリック

- 2 各ボタンをクリックすると自動的にセットアップウィザードが起動しますので、この後は画面の指示に従ってインストールしてください。

CD-ROMの自動挿入機能が有効になっていない場合は、上の画面が表示されません。その場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択して、名前の横のテキストボックスに「Q:¥SetupCD.exe」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「WinCDR Lite」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

「WinCDR Lite」をインストール中に以下の「ユーザー名&シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザ名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザ名とシリアル番号
をそれぞれ入力します。



- ・ユーザー名は半角で8文字から32文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR」のシリアル番号（株式会社アプリアスのお客様登録カードに記載されたもの）です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Liteのシリアル番号は、本製品に同梱されている「WinCDRLite ライセンスカード」の下の欄に貼られたシールに記載されています。

操作方法について

「WinCDR Lite」「PacketMan」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」
「スタート」 「プログラム」 「PacketMan」 「ユーザーガイド」

起動方法について

WinCDR Lite を起動する場合は
「スタート」 「プログラム」
「WinCDR」 「WinCDR」を選択
します。



PacketMan はWindows 起動時に、自動的に起動します。

「MyDVD™ 4.0」の使いかた

使いやすいユーザーインターフェースにより、DVD オーサリング（DVD ビデオ用のメニュー作成と動画ファイルの関連付け作業）と、DVD-R、DVD-RWメディアへのライティングを、直感的に簡単操作で行うことができます。「モーションメニュー」などの高度な機能を駆使して、見応えのあるDVDビデオを簡単に作成できます。CD-R、CD-RWメディアへのVideoCDの書き込みも可能です。

「モーションメニュー」

DVDビデオのメニューを、動画で構成することができます。メニューの「背景」および「ボタン」を動画で作成できますので、ビデオの内容が一目でわかるようなメニューを作成することができます。市販DVDタイトルのような効果を狙うこともできます。モーションメニューは簡単な操作で自動作成され、プロデザイナーによる背景用のテンプレートも用意されています。

「DVD スライドショー」

デジタルカメラで撮影した画像などの静止画データを使用して、高度なスライドショーを作成することができます。音楽やナレーションを同時に保存することもできるので、BGM付きのスライドショーをDVDプレーヤーで再生することができます。

オリジナルの画像データを、作成したスライドショーと同時にDVDに保存することができます。個別のファイルとして保存されますので、パソコンでそのまま読み込むことができます。オリジナルの解像度のまま保存されますので、DVDの大容量を活かして、デジタルカメラデータの保存メディアとして利用することができます。

「OpenDVD 対応」

MyDVDで作成したDVDビデオを、「再編集可能なデータとしてDVDメディアから読み戻すことができます」ので、メニューの変更やボタンの順番を並べ替えるといった再オーサリングを容易に行うことができます。前回DVDビデオを作成するときに使用した素材ファイルを、HDドライブに残しておく必要がありません。動画データだけでなく、DVDスライドショーのデータの再編集も可能です。

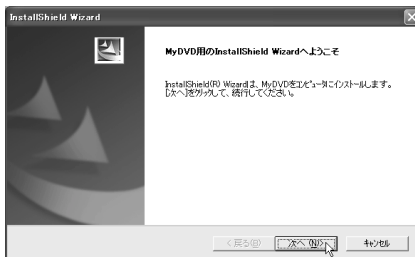
DVD-RWメディアを使用した場合には、同じDVD-RWメディアに対して再編集したデータの再書き込みができるだけでなく、「新しいビデオ・コンテンツを追加」することができます。

「Direct-to-DVD 機能」

DVカメラなどからキャプチャした動画データをリアルタイムでMPEGファイルにエンコードして、そのままDVD-R、DVD-RWメディアに書き込むことができます。ユーザーによるオーサリングやライティングの操作が不要で、メニューの作成も自動で行われますので、手軽にDVDビデオの作成を行うことができます。

インストール手順

- 1 CD-ROMドライブに「MyDVD」のCD-ROMをセットしてください。右の画面が表示されず、「次へ」をクリックしてください。この後は画面の指示に従ってインストールを行ってください。



上の画面が表示されない場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、名前の横のテキストボックスに「Q:¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「MyDVD」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

3

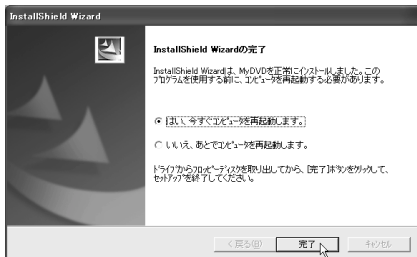
- 2 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、ユーザー名、会社名を入力して「次へ」をクリックしてください。

- 3 「MyDVDを実行するにはDirectX8.1が必要です。DirectX8.1をすぐにインストールしますか」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
(表示されない場合は手順4へお進みください。)

- 4 画面の指示に従ってインストールを進めていくと最後に右の画面が表示されます。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。

以上でインストール完了です。



操作方法について

操作方法についてはMyDVD 4.0のヘルプファイルまたはチュートリアルをご参照ください。

参照手順は以下の通りです。

「スタート」「プログラム」「Sonic」「MyDVD」「ドキュメント」内の「チュートリアル」と「ヘルプ」を選択

また、MyDVD 起動画面から「ヘルプ」または「チュートリアル」ボタンをクリックしても参照することができます。(下の起動画面参照)

起動方法について

「スタート」「プログラム」「Sonic」「MyDVD」「MyDVDの起動」と選択します。

インストール時にデスクトップ上にアイコンを作成した場合は、そのアイコンをクリックしても起動できます。



3

⚠️ ご注意

MyDVD を使用して書き込みを行う場合は PacketMan をご使用になれません。PacketMan を「無効」に設定してください。

「PowerDirector 2.5 Standard FULL」の使いかた

DVカメラからキャプチャした動画データや、お手持ちのDV-AVIファイル等を編集し、様々な効果を加えることができます。編集したデータは、DVDビデオ作成に必要なMPEG-2形式のファイルで保存することができます。サイバーリンク社独自のレンダリングテクノロジー「SVRT」により、MPEG-2編集を行う場合には、長時間の動画データもスピーディーに編集することができます。

インストール手順

- 3
- 1 「PowerDirector 2.5/DVD」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
右の画面から、「PowerDirector2.5 Standard FULL」をクリックしてください。



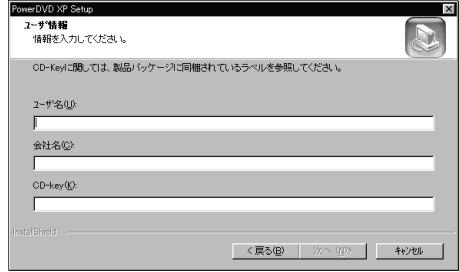
上の画面が表示されない場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、名前の横のテキストボックスに「Q:¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。（「Q:」は「PowerDirector 2.5/DVD」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。）

- 2 右の画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。その後は手順に従ってインストールを行います。



3 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、ユーザー名、会社名、CD-keyを入力します。(注)

「次へ」をクリックしてください。



注) 手順3で入力するCD-keyはCD-ROMを入れてあるビニール製ケースに貼り付けられているものです。

4 画面の指示に従ってインストールを進めていくと最後に右の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。

「Readme フォルを読む」とチェックすると、PowerDirector についての説明ファイルが表示されます。



「ユーザー登録」にチェックを入れるとインターネットに接続され、サイバリンク社のホームページのユーザー登録画面が表示されます。

操作方法について

操作方法については PowerDirector2.5 Standard FULL のインストール後以下の場所に保存される pdf 形式の User's Guide をご参照ください。

「スタート」「プログラム」「CyberLink PowerDirector」「PowerDirector User's Guide」を選択してください。

起動方法について

「スタート」「プログラム」「CyberLink PowerDirector」「PowerDirector」と選択します。



3

「PowerDVD XP (OEM版)」の使いかた

映画やミュージッククリップ等のDVDビデオをパソコン上で手軽に再生できます。もちろん、付属のソフトウェアを使用して作成したDVDビデオの再生も可能です。

インストール手順

インストール手順

- 3
- 1 「PowerDirector 2.5/DVD」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
右の画面から、「PowerDVD XP (OEM版)」をクリックしてください。



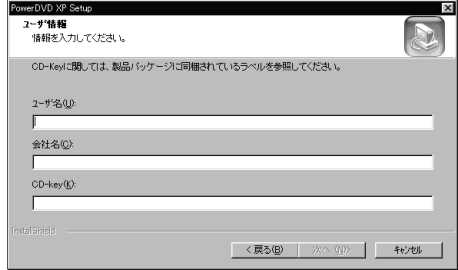
上の画面が表示されない場合、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、名前の横のテキストボックスに「Q:¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(「Q:」は「PowerDirector 2.5/DVD」のCD-ROMがセットされたCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を入力してください。)

- 2 右の画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。その後は手順に従ってインストールを行います。



3 途中でユーザー情報登録画面が表示されますので、ユーザー名、会社名、CD-keyを入力します。(注)

「次へ」をクリックしてください。



注) 手順3で入力するCD-keyはCD-ROMを入れてあるビニール製ケースに貼り付けられているものです。

4 画面の指示に従ってインストールを進めていくと最後に右の画面が表示されます。「完了」をクリックしてください。

「Readme フォルを読む」とチェックすると、PowerDirector についての説明ファイルが表示されます。



「ユーザー登録」にチェックを入れるとインターネットに接続され、サイバリンク社のホームページのユーザー登録画面が表示されます。



操作方法について

「PowerDVD XP (OEM版)」の操作方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」 「CyberLinkPowerDVD」 「PowerDVD Users Guide」

起動方法について

「スタート」 「プログラム」 「CyberLinkPowerDVD」 「PowerDVD」と選択します。



第4章 取り扱いについて

4.1 メディアのセット/取り出しについて

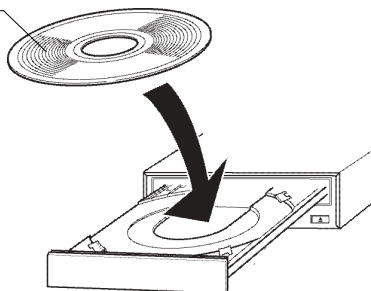
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

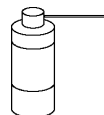
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出してください。

タイトル面を上に乗せます。



！ ご注意

- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVD-R、DVD-RW メディアにはラベルを貼付しないでください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。



ダストクリーナ

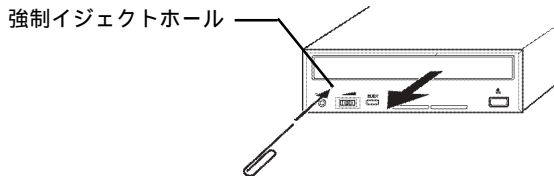
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプが点灯していないかを確認してください。点灯していない場合には、一度USBケーブルをパソコン本体から外し、本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

大きめのクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押し込んでください。

トレイが2～3 cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品の電源がONになっている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

4 . 2 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして USB を採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

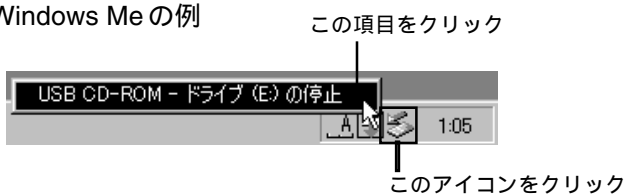
- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用している USB 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

上記の点を確認したら、以下の手順で取り外しを行ってください。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。

Windows Me の例



Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「PIONEER DVD-RW DVR-105 を止める : ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルをパソコン本体側（シリーズ A）、本製品側（シリーズ B）の順に外し、本製品の電源を OFF にしてください。
本製品側のコネクタを先に取り外すと、トラブルの原因となります。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・USB 2.0 ボードのドライバは正しくインストールされていますか？ また、使用 OS のバージョンに問題はありませんか？
- ・本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。
- ・「5.2 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されているかを確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「4.1 メディアのセット / 取り出しについて」をご参照ください。

セットした DVD-ROM、DVD-R/RW、CD-ROM、CD-R/RW ディスクが認識されない。

- ・裏返しなどの異常な状態でセットされていませんか？

特定の DVD-ROM / CD-ROM をアクセスできない。

- ・そのメディアは Macintosh 用の CD-ROM (HFS フォーマット) ではありませんか？ 本製品では Macintosh 用の CD-ROM はアクセスできません。
- ・そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

WinCDR 上の、「レコーダ選択画面」で「仮想レコーダ」のみが表示され、レコーダ名が表示されない。

USB ドライバの再インストールを行う必要があります。

1. 「5.2 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることが確認してください。
2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
3. 枝分かれの部分に「? USB Storage Adapter」と表示されていれば、それが誤って認識されたドライバです。
4. 「? USB Storage Adapter」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行って下さい。

パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

- ・本製品を USB 2.0 インターフェースに直接接続していますか？ USB 1.1 インターフェース接続や、USB ハブを介しての接続の場合、DVD ビデオの再生はできません。
- ・Power DVD XP は正しくインストールされていますか？
- ・リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか？ これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。
- ・リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「5.3 使用環境について」をご参照ください。

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

- ・市販の DVD プレーヤーの中には、DVD-R、DVD-RW メディアに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオを再生可能な DVD プレーヤーの情報については、弊社ホームページ（次ページ参照）をご参照ください。

USB 2.0 インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用している USB ケーブルは本製品付属のもの、または USB 2.0 High-Speed 対応のものでしょうか？
- ・USB ハブ経由で本製品を接続していませんか？ 本製品は USB ハブを介して接続すると正常に動作しません。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアの各メーカーではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ソニック ソリューションズ

ホームページアドレス：<http://www.sonicjapan.co.jp/>

サイバーリンク株式会社

ホームページアドレス：<http://www.cli.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

5.2 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

Windows XP , 2000

「DVD/CD-ROM ドライブ」の一覧に、「PIONEER DVD-RW DVR 105」が追加されます。

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の一覧に、「USB 大容量記憶装置デバイス」が追加されます。

Windows Me

「CD-ROM」の一覧に、「PIONEER DVD-RW DVR 105」が追加されます。

「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」の一覧に、「USB 大容量記憶装置デバイス」が追加されます。

「記憶装置」の一覧に、「USB CD-ROM」が追加されます。

Windows 98 Second Edition

「CD-ROM」の一覧に、「PIONEER DVD-RW DVR 105」が追加されます。

「ハードディスクコントローラ」の一覧に、「Strage Adapter Bridge Module (TTP)」が追加されます。

「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」の一覧に、「Logitech LDR USB Device」が追加されます。

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合は、電源を切る前に「？その他のデバイス」の下に「？USB Strage Adapter」という項目があるかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me , 98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

5.3 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境 (パソコン本体、メディアなど) の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

DVD-R/RW , CD-R/RW の書き込みを行う場合

パソコン本体

本製品は各社の DOS/V パソコン、および NEC PC98-NX シリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

USB 2.0 ポートを持っていること。(CD-R , CD-RW 書き込み時は USB 1.1 ポートでも動作可能)

Pentium 550MHz 以上の CPU を搭載していること。

(CD-R , CD-RW 書き込み時は Celeron 300MHz 以上)

128MB 以上のメモリを搭載していること。

ハードディスクに 10GB 以上の空き容量があること。(20GB 以上を推奨)

できるだけ高速な CPU / 大容量メモリ / 大容量 HD を搭載した環境での使用を推奨します。



ご注意

- ・すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。
- ・DVD の記録 / 再生には USB2.0 のスペックが必要です。
- ・USB1.1 用コントローラは UHCI (Universal Host Controller Interface) に準拠している必要があります。

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 98 SecondEdition (*1)

Windows 2000 Professional

*1 Second Edition でない Windows 98 は対象外となります。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアおよび弊社ホームページで紹介しているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-R メディア >

パイオニア(株) 三菱化学(株) 太陽誘電 「That's シリーズ」

< DVD-RW メディア >

パイオニア(株)

< CD-R メディア >

太陽誘電(株) 「That's シリーズ」 (株)リコー TDK (株)

三井化学(株) 三菱化学(株) 日立マクセル(株) 富士写真フイルム

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株) TDK (株)

書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。ただしUltra Speed CD-RW メディアには未対応です。

DVD-R, DVD-RW メディアにはラベルやシール等を貼付しないでください。

DVD ビデオの再生を行う場合

本製品付属のDVD再生ソフト「PowerDVD XP」を使用してDVDビデオの再生を行う場合、下記環境のUSB 2.0ポートに接続する必要があります。

Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professional

Pentium 450MHz 以上またはCeleron 500MHz 以上のCPU

Windows Me, 98Second Edition

Pentium 400MHz 以上またはCeleron 433MHz 以上のCPU

DVDビデオの音声を再生するには、サウンドボードとスピーカが必要です。本製品のヘッドフォン端子から再生することはできません。

PowerDVD XPの詳しい使い方はタスクバー上の「スタート」ボタンから「プログラム」「CyberLink Power DVD」内の「PowerDVD User's Guide」をご参照ください。

ハードウェア仕様

機種名		LDR - 42U2	
ドライブメーカー		PIONEER	
ローディング方式		トレイ方式	
バッファメモリ		2MB	
バッファアンダーラン対策		あり	
インターフェース		USB 2.0 High-Speed (USB 1.1互換)	
コネクタ形状		USB シリーズ B	
アクセス 速度 *1 *2	DVD-Rへの書き込み	4倍速 / 2倍速 / 標準速 *3	
	DVD-RWへの書き込み	2倍速 / 標準速 *4	
	CD-Rへの書き込み	16倍速 / 12倍速 / 8倍速 / 4倍速	
	CD-RWへの書き込み	8倍速 / 4倍速 *5	
	DVD-ROMの読み出し	シングル	最大 12倍速
		デュアル	最大 8倍速
	DVD-R, RWの読み出し 高速記録対応メディア	最大 6倍速	
	DVD-R, RWの読み出し 従来品	最大 2倍速	
CD-ROM, CD-R, RW の読み出し	最大 32倍速 (USB 2.0 接続時)		
	最大 8倍速 (USB 1.1 接続時)		
記憶容量	DVD-R DVD-RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下	
	CD-R CD-RW	80分ディスクで 700 MB 以下 74分ディスクで 650 MB 以下 63分ディスクで 540 MB 以下 *6	

*1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。

*2 DVDメディアはUSB 1.1 (Full-speed) では使用できません。記載されている速度は全てUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。

*3 4倍速で書き込みを行うには高速記録対応メディアが必要です。

*4 2倍速で書き込みを行うには高速記録対応メディアが必要です。

*5 High Speedタイプ (4~10倍速対応) とMulti Speedタイプ (1~4倍速対応) のCD-RWメディアに対応しています。Ultra SpeedタイプのCD-RWメディアには対応していません。

*6 63分ディスクはCD-Rのみ

記録方式	DVD - R	Disc at once 方式	
		Incremental recording 方式	
	DVD - RW	Disc at once 方式	
		Incremental recording 方式	
		Restricted Overwriting 方式	
	CD- R CD- RW	Track at once 方式 / Disc at once 方式	
Session at once 方式 / Packet write 方式			
平均シークタイム		DVD- ROM : 140 ms 以下	
		CD- ROM : 130 ms 以下	
最大データ転送速度 (I/F) *7		480 Mbps (USB 2.0 ; High - Speed) 12 Mbps (USB 1.1 ; Full - Speed)	
メディアとの最大 データ転送速度 *7	DVD- ROM	最大 16,200 KB / s	
	CD- ROM	最大 4,800KB / s	
DVD - ROM 関係	フェーズ	フェーズ 2	
	リージョンコード	2 (設定済み)	
環境条件 *8	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
ヘッドフォン出力		0.7 V	
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50 / 60 Hz	
消費電力 (定格)		14.5 W (typ)	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		150 × 44 × 243 mm *9	
質量		1.8 kg	
設置方向		水平 / 垂直	

*7 理論値

*8 ただし、結露なきこと

*9 横置き時、突起部を除く